



平成19年 4月13日

各 位

会 社 名 株式会社パシフィックネット
代表者名 代表取締役社長 上田 満弘
(コード番号 3021 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部門担当
氏名 菅谷 泰久
(電話番号 03-5730-1442)

通期個別業績予想の修正及び連結業績予想開示の開始に関するお知らせ

平成19年 1月15日に公表いたしました平成19年 5月期の通期の個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、株式会社システムイン郡山の株式取得により平成19年 2月15日付で子会社となったため、連結業績予想を下記のとおり開示いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期の個別業績予想数値の修正 (平成 18年 6月 1日～平成 19年 5月 31日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	3,641	258	140
今回修正予想(B)	3,578	204	97
増減額 (B-A)	△63	△54	△43
増減率(%)	△1.7	△20.7	△31.0
(ご参考) 前期実績 (平成 18年 5月期)	3,488	404	231

2. 平成 19年 5月期の連結業績予想 (平成 18年 6月 1日 ～ 平成 19年 5月 31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	百万円 3,668	百万円 208	百万円 101

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 3,933円 06銭

3. 修正の理由

通期の個別業績予想

平成 19年 5月期第 3 四半期の個別業績予想は、売上高が 2,639 百万円となり、前年同期比 149 百万円 (5.9%増) 増加したものの、平成 19年 1月 15日に公表いたしました通期の売上高、経常利益及び当期純利益がそれぞれ予想を下回る見込みであります。

これは事業環境の変化に起因するもので、中古市場の拡大基調に変化はないものの、マ

マイクロソフト社の新OS「ウインドウズ・ビスタ」が平成19年1月に発売されましたが、大企業を中心にパソコンの買い替え需要が消極的であり、中古パソコン市場での商材不足から、予想通りの商材が確保できませんでした。このような仕入環境の変化において、仕入価格が上昇し、売上総利益率の低下もまねき、平成19年1月15日に公表いたしました業績予想を下回りました。

よって、通期の個別業績予想につきましては、売上高3,578百万円、経常利益204百万円、当期純利益97百万円に下方修正いたします。

しかしながら、パソコンの買い替えは、発売後の半年若しくは一年後から本格化すると予想されますので、第4四半期の業績については、引き続き、リース・レンタル会社、一般法人、公共機関、個人及び家電量販店へ積極的なアプローチを行うため、全国12拠点の回収網や仕入部門強化のために新設した市場開発部、及び(株)システムイン郡山による更なる仕入強化を行います。

また、ネットオフ(株)、(株)ゴルフパートナー(東証マザーズ)、(株)ZOA(JASDAQ)、(株)アップガレージ(東証マザーズ)、バリオセキュア・ネットワークス(株)(大証ヘラクレス)との業務提携を推進することにより、仕入及び販売、告知活動の強化をいたします。更に、組織の統廃合による業務効率化やコスト削減を継続的に進めてまいります。

(注)上記の業績予想につきましては、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、様々な要因により、この業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

以上